

爽・創・荘

学校日より
令和5年5月2日
加古川市立両荘中学校

爽やかであること、創造すること、成長することを願って、「爽（そう）・創（そう）・荘（そう）」と名付けました

自然と人とのつながり - 両荘のよさ -

先日、縁があって、サンテレビジョンの社長の門野隆弘さんとお話をする機会がありました。実は、この両荘中学校の卒業生であり、昭和48年度、第26回生の先輩です。今は違うところにお住いなのですが、幼少期はもちろん、大学で外にでるまで、この両荘地域で過ごされていたそうです。元々は、神戸新聞社の記者で、外国でも活動しておられたジャーナリストです。論説委員などを歴任され、本も書かれています。

その門野さんがこの両荘の素敵な思い出として、次のように言われました。「自然が豊かで、道草をしながら四季を感じることができる帰り道では本当にいろいろな経験をしました。夏は、学校からの帰り道に途中で冷たいお茶を飲ませてくださるおばちゃんもいました。子どもの頃は、旬の野菜がいつもいやほど出てくるので、そのよさがわかりませんでした。大人になれば、その季節を感じる経験がどんなにかけがえのないことだったのかとよく考えることがあります。今はもうそのような経験はできないのです。」

みなさんは、この話をどう感じるでしょうか。このお話は、自然が豊かであること以外にも、この地域の人と人とのつながりや温かさを感じることができる逸話だと思いながら、お聞きしていました。子ども心に「自然」と「人と人とのつながり」を感じていた門野さんだからこそそのジャーナリストとしての視点もあったはず。人は、自然と共生していかなければなりませんし、人とも共生していかななくては生きていけません。そのことが何気に伝わってくるお話だと受け止めています。

みなさんには、今後生きていくために必要な感性を培ってくれるこの両荘で育つ喜びをぜひ感じてほしいと思いながら、門野さんとのお話を終えた素敵な一日でした。

トピック 両荘中学校 から 両荘みらい学園へ

昨年度より、新しい学校の開校に向け、多くの会議、動きが始まっています。教育内容はもちろん、学校行事、委員会活動、一日の時程(チャイム)など、小学校と中学校が一体となるために大切にする考えや調整を、教育委員会、平荘小学校、上荘小学校、そして、両荘中学校で進めています。今年度は、1・2学期に、1回ずつ、教育委員会より、生徒及び保護者の皆様に説明する機会を設ける予定としています。予定がわかりましたら、ご案内いたします。

4月のホームページ「両荘エトセトラ」より

3年生 ひめゆり学徒隊に学ぶ ～両荘みらい学園プレカリキュラム～ 4月28日

3年生の修学旅行の学びの一つに、沖縄での「平和学習」があります。学年では、中学2年生の時から、平和学習を積み重ねてきました。学校では、これらの学びは、「両荘みらい学園」の「ふるさとみらい科」のプレカリキュラムであると考えています。

今日は、実際に訪問する「ひめゆり平和記念資料館」での学びを切実感をもって学ぶことができるよう、DVDを視聴しました。「生徒たちを戦場に残してどうするんですか」「非国民！」などの言葉から当時の民衆の心も想像できます。そして、沖縄の民衆であり、学生であるひめゆり学徒隊が戦争の最前線に巻き込まれて行く事実を知り、生徒たちは、戦争に巻き込まれた人々の思いに少しでも近づけたはずです。「戦争は絶対にゆるさない」。。。これは永遠に人類の普遍真理であって欲しいと改めて決意した2時間でした。



〈じっとくいいるように視聴〉



〈学習プリントより〉

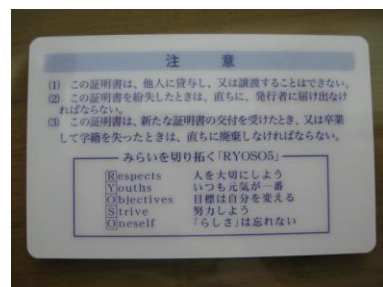
今年度より生徒手帳をなくし カード式生徒証明書にしました 4月14日

今年度より、カード式生徒証明書にします。携帯のしやすさと丈夫さが利点です。サンプルを写真でどうぞ。。

中学1年は3年間使うので、今年度は、本校と両荘みらい学園、両方の校章入りとなっていて、レアな生徒証明書です。バーコードは図書室でも使います。



〈サンプル表〉



〈サンプル裏〉